

「動物飼育と教育」投稿規定

- 1 投稿は会員とする。
- 2 原稿は、創意的なもので、研究論文、研究報告などとする。
- 3 原稿の取捨、掲載順序、体裁は編集委員会に一任のこと。校正は原則として編集委員会が行うが、必要であれば、著者が校正を申し出ることができる。
- 4 研究論文及び研究報告の長さは、本文・図・写真を含めて 22 字×36 行×2 段×8 ページとする。ワープロの場合、B5 または A4、横書き、22 字×36 行を 1 ページまたは半ページとする。コピー計 3 部を送付のこと。なお、編集等の企画による論文については、その長さは改めて指定する。
- 5 原稿は必ずパソコンのワープロソフト（一太郎またはワード）を使用し、電子メールに添付して、原稿締め切り日までに事務局宛送付する。手書き原稿または指定以外のワープロソフトで作成した原稿については受け付けられないので注意すること。
- 6 原稿に写真を挿入する場合は、写真のみ別ファイルで保存する。写真はデジタル画像のみとし、印画紙に焼き付けたものはスキャナー等で取り込んで、予めデジタル画像に直して保存する。写真を本文中に挿入する場合は、原稿の本文中に写真を挿入する位置を明記すること。
- 7 記入書式については、別紙「原稿書式」を参照すること。
- 8 原稿記載上の注意事項
 - (1) 原稿は横書きとし、欧文文字などは、1 文字は全角、2 文字以上は半角で入力する。
 - (2) 生物の和名はカタカナで書く。
 - (3) 学名はイタリック、人名はスモールキャピタルとする。
 - (4) 数量の表示は、1 桁は全角、2 桁以上は半角とする。なお、文中の年号は西暦とする。
例：1998 年 12 月 7 日、5m, 35g, 50%
 - (5) 文章順位の番号は 1, (1), a, (a) とし、すべて左寄せにする。
 - (6) 句読点などは、：；. , ・を用いる。
- 9 図・表（以下図表という）はできるだけ少数にとどめ、必ずそのまま写真製版が可能なものとし、本文中に記載する。図表のタイトル及び説明は、本文中に記入する。その際、図（写真も図とする）のタイトルは図の下、表のタイトルは表の上に記入する。
- 10 文献は、終わりに一括し、著者のアルファベット・出版年次順に配列する。記載順は次の通りとする。

論文の場合 著者（年号）表題。雑誌名。刊号：引用ページ。
 書籍の部分の場合 著者（年号）表題。In：著書名、編著者名、引用ページ、出版社名。
 書籍の場合 著者（年号）著書名。出版社名。（必要により出版地）。
 例：Burgman, M. A., S. Ferson and H. R. Ackcakaya (1993) Risk assessment in Conservation Biology. Chapman and Hall, London.
 倉本宣・鷺谷いづみ・井上健 (1995) 多摩川におけるカワラノギク個体群の分断化とその保全における種子散布の役割。日本造園学会誌。57:113-116.
 Levin, D. A. and H. W. Kerster (1969) Density-dependent gene dispersal in *Latris*. American Naturalist. 103:61-74.
 高槻成紀 (1996) 普通種の保全と管理。In：保全生物学入門、樋口広芳編、191-220。東京大学出版会。
 鷺谷いづみ (1996) 保全生態学入門 遺伝子から景観まで。文一総合出版、東京。
 Wilson, E. O. (1992) The Diversity of Life. W. W. Norton & Company, N. Y. [邦訳：生命の多様性 I, II. 岩波書店。]
- 11 投稿原稿は査読を行うものとし、受理の可否については、査読終了後投稿者に連絡する。
- 12 原稿締切は、自由投稿については毎年 8 月 31 日とし、研究会が指定する原稿については別途指定する。
- 13 本学会誌に関する問い合わせは、研究会事務局あるいは研究会誌編集委員会に直接行うこと。